

平成 24 年 11 月 26 日

学校関係者評価委員会 報告書

学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会を開催し、自己評価の結果および改善策についてのまとめを評価させていただいた。

□ 概評

本校は建学の精神・教育方針・教育目標に沿って揺るぎのない一貫した教育を行っているとは評価できる。この姿勢を堅持して今後も指導にあたってほしい。また、時代の変化に応じて、保護者・生徒のニーズにも応える教育にも挑戦していただくことを期待したい。自己評価でまとめられている方向に沿って、今後とも教育の改善と推進が図られることを望む。

さまざまな個性をもった生徒に対して有意義な学習や体験の機会を提供し、行事・部活動などの活動を通して自主性を養うとともに、生徒の人格的な成長を促す指導も行っていることは評価できる。入学した生徒がのびのびと夢に向かって成長していっていると感じる。

学校評価に係わる生徒・保護者のアンケートでは、保護者の評価に比べて生徒の評価が低く出ているという違いがあるが、保護者は学校の教育活動の現場をよく見ているというわけではないことから、違いが出ることはやむをえない。ただ、生徒にも学校生活に対して積極的に取り組んでほしいという点と、保護者も生徒にしっかりと向き合っ、教員と協力して生徒の成長を支援してほしいとお願いしたい。

自己評価については、全体として本校の教員は生徒のために熱心に取り組んでいるものと思うが、その評価に対して教員自身は自らを厳しい目で評価しているように感じる。

- 学校運営については、教育方針・教育目標にそって、個性豊かな教員が熱心に指導にあたっていることが理解できる。教職員間の連携については、自己評価が必ずしも高くないことをみれば、連携が必ずしも十分ではない、足並みがそろっていない部分もあるのかと思われる。そのようなことがあると、指導を受ける生徒に指導内容が適切に伝わらないことも起こりうる。共通の教育方針・目標に向かって一層連携・チームワークを深めていただきたい。
- 教育内容については自己評価の通りであるが、授業・学習指導においては、さらに生徒が落ち着いた学習環境のもとで集中して学習に取り組み、学力の向上を図ることができるよう創意工夫して取り組んでいただきたい。また、進路指導については、将来の目標の実現に向けた重要な取り組みであるので、一層の充実を望みたい。その他、全体的に教育活動が充実し成果が向上するよう努力を期待したい。
- 生徒指導・支援については、教員はよく努力し生徒に対して熱心に粘り強く取り組んでいるものと評価する。目立ったいじめ等の問題もなく、心優しい生徒が育っている。一方で、教員と生徒との信頼関係、生徒が教員に相談しやすい関係にあるかについては、必ずしも十分ではないので、この点の改善を望みたい。また、礼儀正しい生徒がいる一方、規律・マナーが浸透していない面も見受けられる。教員の努力や指導の成果が直ちに現れるものではないが、今後とも、生徒全体に向けての指導と生徒個々に応じた指導を、ともに丁寧にきめ細かく継続して実践していただきたい。
- 教員研修・資質向上については、個性豊かで熱心な教員が、生徒一人ひとりに応じた指導をしていたらと評価しているが、さらにより良い教育を目指して教員全員が積極的にチャレンジしていこうという姿勢を期待したい。

□ まとめ

全体的に本校は優しい心をもっている生徒が多い。そのような心を育ててくれる学校だと評価している。ただ、私学を取り巻く教育環境は大変厳しくなっていることから、学校運営・生徒教育の面で、今後とも、教員・生徒・保護者が気持ちを一つにして、より良い学校を目指して一層努力し評価を高めてほしい。